

校長先生からの「のびゆくすがた」

22名の1年生を迎えて、162名でスタートした1学期も今日で終わります。

1学期の始業式の時、イチロー選手の言葉を紹介しながら、2つのことを伝えました。

1つは、失敗を恐れないで、いろんなことに挑戦をしてほしい。そのためには、どうしたらそれが実現できるかを「ともに悩み」、実現したときには「ともに喜び合う」、そんななかまになってほしいと話しました。

2つは、一人一人が、自分が夢中になれることを見つけたい。それを友だちや先生に伝え、みんなが応援してくれるよということをお話しました。

1学期を振り返ったとき、「自分はこんなことに挑戦したよ。」「夢中になれるこんなことを見つけたよ。』と言えることがありますか。1学期を振り返って、校長先生から、それぞれの学年の子どもたちに「のびゆくすがた」を渡します。

【1年生】1年生のみんなが、毎日、楽しく小学校に登校できたことが、校長先生が一番嬉しいです。ちゃんと座って、先生や友だちの話や話を聞けるようになったのも、すごいなあと思っています。もう、ひらがなは全部覚ええましたか。校長先生は、1年生のみんなが、先生とお話をしながら書いた作文を読むのをいつも楽しみにしています。授業参観や運動会などの作文も読みましたよ。夏休みも楽しい思い出がいっぱいあると思いますが、お出かけしたことや友だちと遊んだことだけでなく、家でのお仕事を頑張ったことや、初めてやってみたこと、びっくりしたことなどを、絵に描いたり、日記に書いたりして、校長先生に教えてほしいと思っています。2学期になったら、夏休みの楽しかった思い出をいっぱい聞かせてください。楽しみにしています。

【2年生】運動会の時、2年生のみんなが1年生をリードしている姿を見て、「さすが2年生」と思いました。下校の時にも、2年生が1年生を並ばせてあげているのを見て、成長を感じています。1学期は、「まちたんけん」をして、壬生野の素敵なところを、紹介したり、見つけたりしましたね。昆虫の森から、りっぱな鹿の角を持って帰ってきたときはビックリしました。夏休みも、家の人と一緒に「まちたんけん」をして、壬生野の素敵なところや、また、「壬生野の名人さん」をいっぱい見つけて、2学期に友だちに教えてあげましょう。1学期は新しい漢字もたくさん勉強しました。忘れないように、繰り返し、丁寧な字で練習をしましょう。

【3年生】3年生になって、みんなで何かをやろうという姿が見られるようになり、嬉しく思っています。会社活動なども、みんなが楽しめるように計画できました。3年生と一緒に勉強をしたときに、3年生のみんなが、2年生の時に比べて、黒板の前に出て自分の考えを発表しようとしたり、友だちに自分の考えを伝えようとしたりしている姿が見られたのに、成長を感じました。夏休みも、校長先生が宿題を見に行くかも知れませんよ。しっかり1学期の復習をしましょう。ただ、3年生は、給食を残す量が多いのは残念です。誰でも苦手なものはあります。だからこそ、2学期は残食が少なくなるよう、みんなで作戦を考えて、みんなで取り組んでほしいなと思います。3年生が力を合わせたら、きっとできるはずですよ。期待しています。

【4年生】4年生になり、みんなで協力してやり遂げようとしている姿が見られるようになってきたことを嬉しく思っています。この前、参観した授業では、角度の測り方について、友だちと一緒に考えたり、教えあったりしている姿を見て、「みんなでできるようになろう」とがんばっていることがわかりました。また、最初は上手くできなかった給食の配膳も、今では、担任の先生に頼ることなく、自分たちで役割分担をして、短い時間で配膳ができるようになりしました。4年生が、ほとんど給食を残さず食べられるようになったことは、給食センターの先生もほめてくれていましたよ。やる前から、「無理」とあきらめてしまうのではなく、みんなで協力すれば、やり遂げることができることが分かった1学期だったように思います。2学期も期待しています。

【5年生】高学年になり、日々の委員会の活動をしている姿や、休み時間に、他の学年の子たちも入れて遊ぼうとしている姿などから、「みんなのためにがんばろう」としていることが伝わってきて嬉しく思っています。何事にも一生懸命取り組もうとする5年生だからこそ、5年生のみんなには、「考える」ということを求めたいと思います。高学年になると、言われたことだけをしているだけではいけません。友だちに合わせているだけでもいけません。まわりの状況やいろいろな立場の子の思いを考えて、自分は、何をどのようにやっていくべきかを考え、判断し、行動できるようにならなくてはなりません。そのためにも、一人一人が、もっと自分で考え、自分の考えを持つことが必要です。一時の感情をぶつけているだけではいけません。

1学期は、「いのち」について学ぶ機会が多くありましたが、その中で、一人一人が「かけがえのない存在」であると感じたと思います。一人一人が「かけがえのない存在」だからこそ、一人一人が、自分に自信を持ち、しっかり「自分らしさ」を出すことを大切にしてほしいと思っています。2学期も期待しています。

【6年生】様々な活動の中で、最高学年として、みんなががんばろうとしていることが伝わってきました。運動会での姿や、委員会の仕事なども進んで行っている姿に、頼もしさを感じています。ただ、そんなふうみんなをリードする姿が見られた一方で、一番身近にいる友だちと、本音をぶつけ合っているのかなと不安に思う場面もありました。1学期に出合った松村元樹さんからは、「みんなは自分のことをどれだけ出してきましたか。どれだけ出せていますか。」と問いかけがありました。さらに、「隣に本音を出せない子がいたら、その子に本音を出せないようにしていた自分はいなかったか。そんな場面を自分が作ってなかったか。そんなふう自分のことを振り返り、見つめられる子になってほしい。」「その子が変わってほしいと思ったら、まわりにいる自分も変わらなアカン。自分の接し方や見方を変えることは大切なこと。」といった話もしていただきました。担任の先生からは、学年の集いなどで、これまで伝えることができなかった友だちへの思いや自分のことを伝えようとする姿が見られるようになってきたとも聞いています。そうした友だちの姿が後押しとなり、2学期は、一人一人が、少しでも「自分こと」を語りたいと思える、そんな「なかま」になってほしいと願っています。最高学年として過ごした1学期、ご苦労様でした。



みんな、よくがんばったので、全員、花丸です。2学期もがんばりましょう。元気で、楽しい夏休みを！